

sto

こんなときどうする

Sto Q&A集



施工前のQ&A / 施工後のQ&A / 仕上材について / カラーについて





施工前のQ&A ①

Q.左官業者の手配が難しいです。材工で依頼できますか？

A.各都道府県に認定講習を修了された業者様がおりますので材工にて承っております。
(※島根県・大分県につきましては修了業者がないためお問合せください)

Q.Stoの施工は認定講習会を受けた施工業者以外は施工はできませんか？

A.認定講習会を受講せずに施工は可能ですが、『Sto塗り壁工法外壁保証』お申込みしていただくためには受講していただくことが必須となります。
正しい施工方法を習得できますのでおすすめはさせて頂いております。

Q.Sto塗り壁工法外壁保証を申請したいのですが上棟後でも可能ですか？

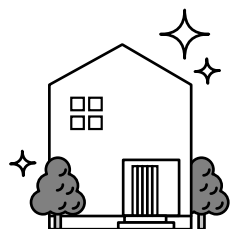
A.大変申し訳ございません。配筋検査等の都合があるため必ず基礎着工前のお申込みをお願いしております。詳しくはお問合せください。

Q.長期優良住宅に使うことはできますか？

A.EPSをお選びの場合は通気層ありのご用意がございますが、自治体により最終的な判断が異なります。詳細につきましては自治体へお問合せいただくか弊社へお問合せください。

Q.Stoの耐用年数はどのくらいですか？

A.Stoの壁材はおよそ15年～20年の耐用年数はありますが、汚れが気になり始めた時や撥水効果が落ちた時が塗り替えの時期とお考えいただければと思います。また、Sto社からは、20年に一度の塗り替えが推奨されています。





施工前のQ&A ②

Q.施工方法を知りたい

A.EPS施工・サイディング施工・左官施工に関しまして、施工マニュアルのご用意がございます。

〈マニュアルダウンロード先〉 匠屋ホームページ > ダウンロード

Sto 匠屋

検索

<https://takumiya-style.co.jp/>

Q.軽量モルタルで下地を作って、StoロータサンK1.0で仕上げることはできますか？

A.可能ではあります。しかしながら、クラックの発生に関しては何とも言えないところがあります。その点をご理解いただいた上で、Stoプライマーを塗布し、ロータサンK1.0で仕上げてください。

Q.ブロック塀にStoを施工することはできますか？

A.Stoプライマー塗布後、ベースコート→メッシュ(ベースコート伏せ込み)→仕上げ材という流れで施工してください。ただし、ブロック下地のためメッシュを入れてもクラックが入る可能性はあります。予めご了承ください。

Q.冬場の施工方法について

A.外気温4°C以上で行ってください。

なお、風がある日は気温より低いことがありますのでご注意ください。



Q.改修時(リフォーム)の施工方法について

A.既存壁の種類や状態により方法が異なるため、お問合せの際に既存壁の種類、築年数、壁の状態がわかる画像数枚を弊社までお送りください。確認後、施工担当よりご連絡さしあげます。



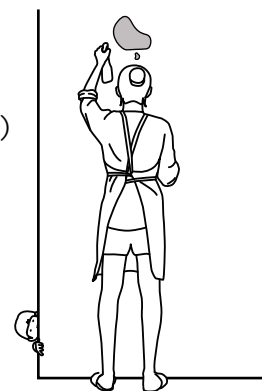
施工後のQ&A ①

Q.施工後のメンテナンス方法

A.Stoの塗り壁は汚れにくいと言われてはいますが、雨だれなどは自然についてしまう場合があります。その場合はゴシゴシとこすって落とさないように注意してください。Stoの壁材は塗膜で撥水していくのではなく、非常に細かい毛のような材料で隆起している表面を水滴が転がることで汚れが付きにくくなっているため、スポンジやブラシなどでゴシゴシ擦ると、その毛羽立ちがなくなるため撥水効果がなくなります。どうしても気になる汚れがある場合は弊社へご相談ください。

清掃

- ◆ 一般的な汚れ・・・中性洗剤(キュキュット・チャーミーグリーン・ヤシノミ洗剤 等)
- ◆ 藻やカビを落とす・・・施工店にご相談ください



洗浄道具

- ◆ 柔らかいブラシ、ハケ、家庭用高圧洗浄機(代表的なものとしてケルヒャー・マキタ 等)
※高圧洗浄機を使用する場合は、集中して一部に当て続けないうご注意ください

使用禁止

- ◆ 重曹、台所用石鹼、食洗機用洗剤 ※アルカリ性や酸性の洗剤などは、外壁を傷める可能性があります
- ◆ 有機溶剤・・・EPSを溶かしてしまいます
- ◆ 高温洗浄・・・EPS使用限界温度が80°Cのため
- ◆ 硬いブラシ(鉄製ブラシ等)・・・仕上げを傷めます
- ◆ 業務用高圧洗浄機、サンドブラスト





施工後のQ&A ②

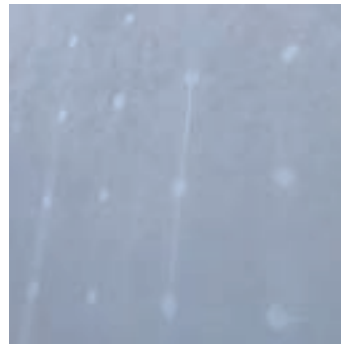
Q.撥水していないように見えます

A.施工後20日～40日で撥水効果が現れてきます。

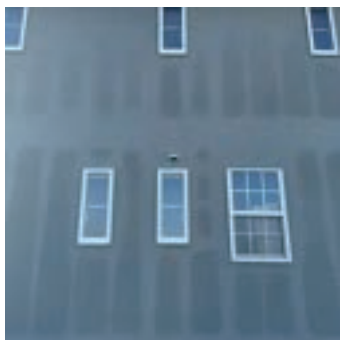
なお、ロータサン効果がある材料に関して、色の違いによって撥水の見え方が異なる場合がありますのでご了承ください。

Q.EPSで施工した家のワッシャーが目立ちます

A.ホルツサーモ(Sto外断熱工法システム)にて施工された建物の場合、EPSとワッシャー部分の温度差で結露が生じ、写真のように色が違って見える場合がございますが、これは施工不良ではございません。



ホルツサーモは、壁内の湿気を外に放出する構造になっており、上記の状態は空気中の水分が外壁面に出てきて、湿気と交わって起こった現象です。ワッシャーの部分は湿気が放出されにくく、乾いている状態となり、EPS部分は濡れている状態になります。(サイディングなどの場合も下地があるところない所の温度差で結露することがあります)



このような状態は、特に秋から冬にかけての朝に起こりますが、日が昇り気温が上昇していくにつれ湿気が乾燥し、元に戻ります。しかし、北側ではこのような条件は難しいことから昼間まで残る事で、より目立ちます。



施工後のQ&A ③

Q.メッシュの重なり影が気になる

A.Stoメッシュの重なり部分が日の光で見える時があると思います。日が当たっていない状態でも見える様子であれば、ベースコートが薄い等が原因と考えられます。通常の施工では、メッシュの重なり部分が見えないよう注意しながら施工しますが、重なりは二重になるため、どうしても日の当たり方で見えてしまうケースがあるかもしれません。

Q.乳化剤による雨だれのような現象について

A.濃い色ほど冬の寒い時期に仕上げ施工をすると成分が出やすく、雨水で流れてしまう場合があります。半透明に見える雨だれのようなものは乳化剤ですので、水をかけて洗い流すときれいに落ちます。雨でもきれいに流されれば仕上げに問題はありません。



!! 施工後、このような現象が見られた場合は弊社までご連絡ください





仕上材について

『K1.0』と『MP』の違い

K1.0	1mmの骨材入り。独特な質感の仕上がり。
MP	骨材なし。骨材入りと比べると仕上がり滑らかに。

※骨材・・・仕上材の中に入っている砂のような粒状のもの



テクスチャーパターンの種類



フローティングK1.0



ラフK1.0



アルスターウェーブK1.0



ウォーブラーK1.0



シュトロームK1.0



シュトロームMP

※MPはコテむらがない仕上げ方は不可です
 ※実際の仕上がりに近いよう努めておりますが、様々な諸条件により実際のカラー及びテクスチャーと異なって見える場合がございます。何卒ご了承ください。



テクスチャーパターン例



カラーについて ①

- ① Stoの仕上材は、全ての仕上材が超撥水するわけではありません。『ロータサン』と名前が付くもののみが超撥水します。ただし、カラーにより撥水の見え方が異なる場合がありますので予めご了承ください。

塗材 / 標準カラー

ロータサンK1.0 Sto Lotusan K1.0



骨材入り(1mm)

■施工可能面積 11~13㎡
(※吹付施工時 14~15㎡ 1回吹付け)

ロータサンMP Sto Lotusan MP



骨材無し

■施工可能面積 13~15㎡
(※吹付施工時 およそ17㎡ 1回吹付け)

水性アクリル樹脂が入った、ドイツ漆喰です。これひとつで塗り壁と超撥水仕上げが可能となった画期的な塗り壁材です。



- ② お選びいただくカラーによってはロータサンK1.0(またはMP)が対応していない場合がありますのでご注意ください(特に濃色)

- ③ 取扱っておりましたカラークリランは販売終了となりました。詳細につきましては弊社までお問合せください。

終売しました



- ④ ホルツサーモ(Sto外断熱工法システム)の下地の場合は必ずカラー反射率20%以上のものを選んでください。EPSの原材料であるポリスチレン樹脂は熱可塑性樹脂のため高温に接すると軟化・収縮などの変形を起こします。そのため使用限界温度を80℃としており濃色の仕上げ材を塗ってしまうと仕上材の熱でEPSが変形してしまう可能性があります。

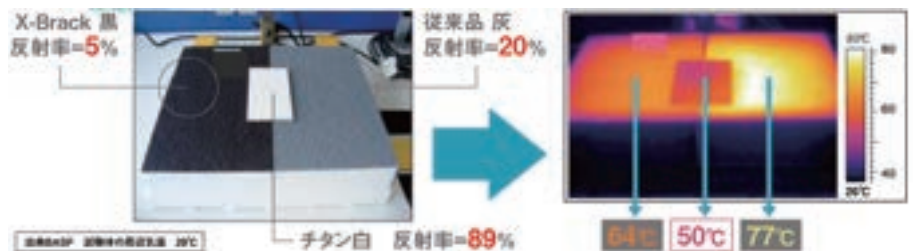


カラーについて ②

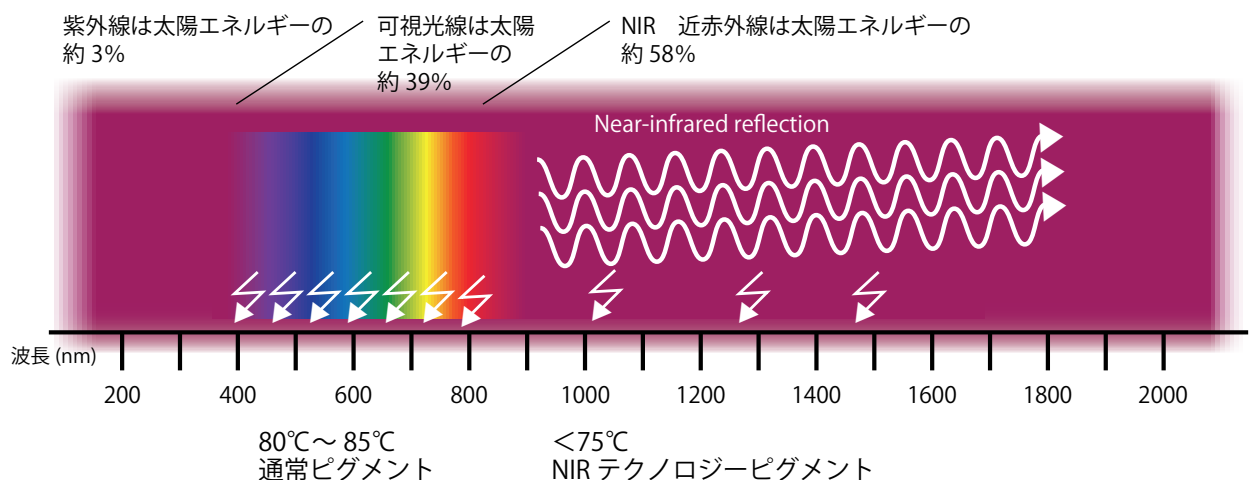
- ⑤ 黒(Sto該当カラーNo.37100)は濃色のため、標準カラーではなくロータサンカラー対応色となりますのでご注意ください。また、特に濃い色は、熱膨張によるひび割れや退色が他の色よりも起こりやすいです。外壁の寿命やメンテナンスサイクルを長くするためにも近赤外線反射塗料の『StoColor X-black』のご検討もおすすめします。No.37100以外の濃色も調色可能ですが、国内在庫がないためお早目にご発注ください。
※納期4ヶ月程 ※撥水効果はありません
- ⑥ 下地がホルツサーモ(Sto外断熱工法システム)の場合は通常、カラー反射率20%以下のもの(黒や濃色など)は施工できません。ただし、近赤外線反射塗料『StoColor X-Black』を使用して頂くことにより施工が可能となります。『StoColor X-Black』は、反射率が低い濃いカラーが起こす、太陽光が原因となる外装の表面温度の上昇を、「近赤外線反射」によって75℃以下に保つことができる仕上材となっております。
※撥水効果はありません



StoColor X-blackは特殊な塗料。
日射による温度上昇を15%～20%抑制します。



NIR「近赤外線反射」のしくみ





カラーについて ③

⑦ 色見本帳・カラーファンの記号の説明



31137  77 C1 ○△
カラーNo. | カラークラス
3から始まる5ケタの数字 反射率表記

カラーナンバー右側のマークをご確認ください。
 標準カラーにはロータサンK1.0またはMPの
 超撥水効果対応色に「○」印が付いています。

色見本帳



カラーファン

- A: ○印がある……StoロータサンK1.0(撥水効果あり)対応色(標準カラー)
- B: △印のみ……Stoロータサンカラー(撥水効果あり)対応色
- C: ○・△印がない……Stoリット(撥水効果なし)対応色

※色見本には△印の記載はありません



A: 例

32138  79 C1 ○△

【手順】

Stoロータサンk1.0+カラーボトルNo.32138
 (撥水効果あり)左官または吹付けで施工。
 プライマーにもカラーボトルを入れて塗布し
 てください。



B: 例

36442  14 C3 △

【手順】

StoリットK1.0+ カラーボトル
 (カラーボトルNo.はSto社から指示あり)
 を左官または吹付け、乾燥後にStoロータ
 サンカラーNo.36442(撥水効果あり・調色済)
 をローラー・刷毛で2度 塗布。



C: 例

34302  25 C3

【手順】

StoリットK1.0+ カラーボトルを左官
 または吹付け施工。

※カラークリランにつきましては販売終了
 となりましたため、詳細につきましては
 弊社までお問合せください。

Stoロータサンカラーの下地に塗るStoリットのカラーボトルNo.は、仕上げたい色より少し
 薄い色を塗ります。最終仕上色によって色が異なるため、カラーボトルのNo.はSto社より指示があります。

Holz Therm(外断熱工法システム)の下地の場合は
反射率20%以上のカラーを選んで下さい。



反射率の表記

※Sto社では日々、改良、研究をしており、標準カラー対応色でなかったカラーが、対応可能になるカラーがあります。

カラー見本帳の最新発行が未定の為、標準カラー以外の色や、現在のカラー見本帳内○印は目安としてください。

※ロータサン効果がある材料に関して、色の違いによって撥水の見え方が異なる場合がありますのでご了承ください。